

東関東自動車道
下小野第二高架橋耐震補強工事

設 計 図
【二俣高架橋（上り線）】

令和 7 年 2 月

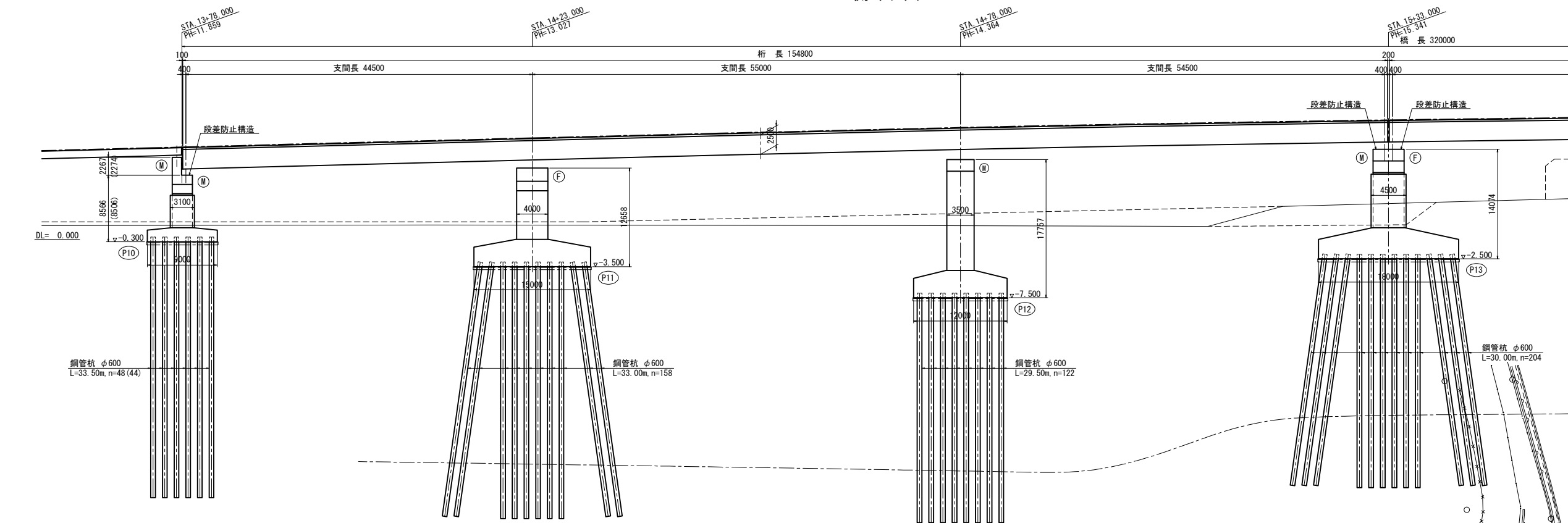
東日本高速道路株式会社
関東支社 千葉管理事務所

目 次

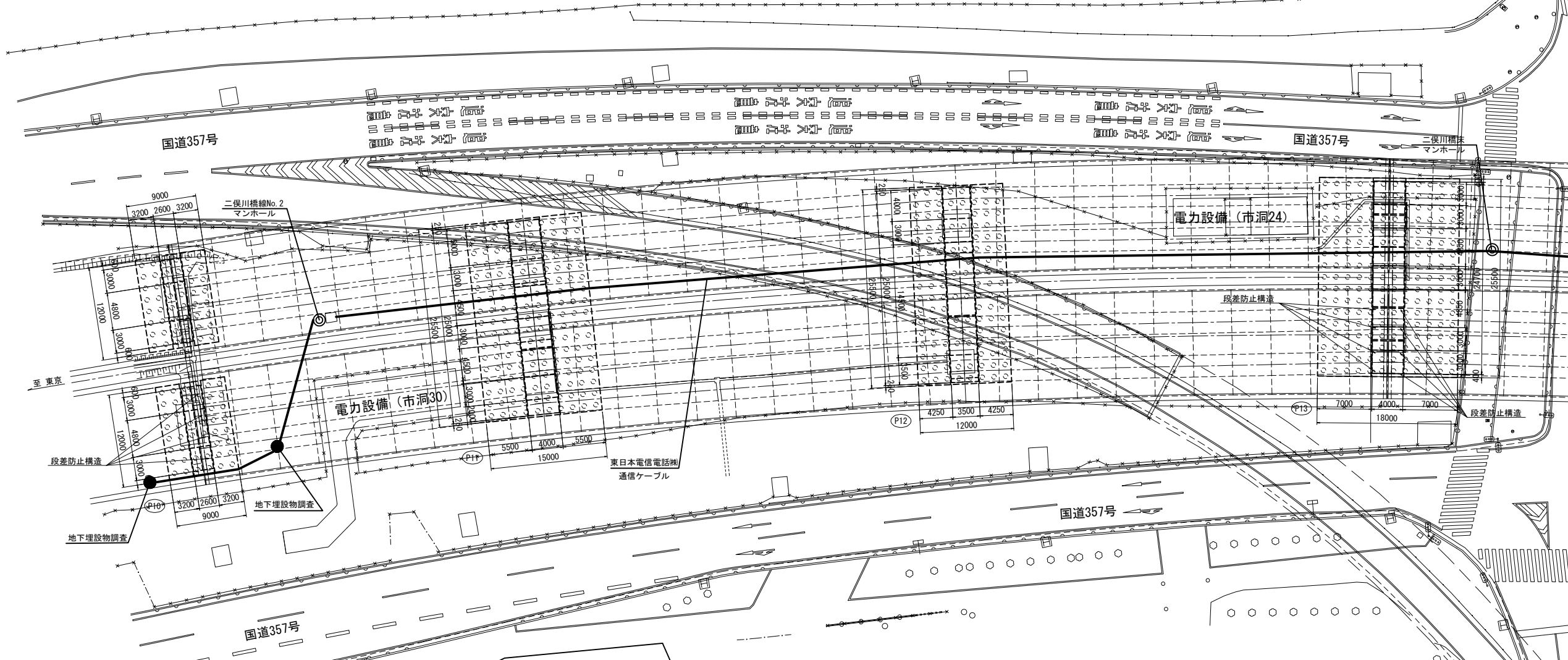
[illegible]

二俣高架橋（上り線） 耐震補強橋梁一般図（その1） S:1:600

側面図



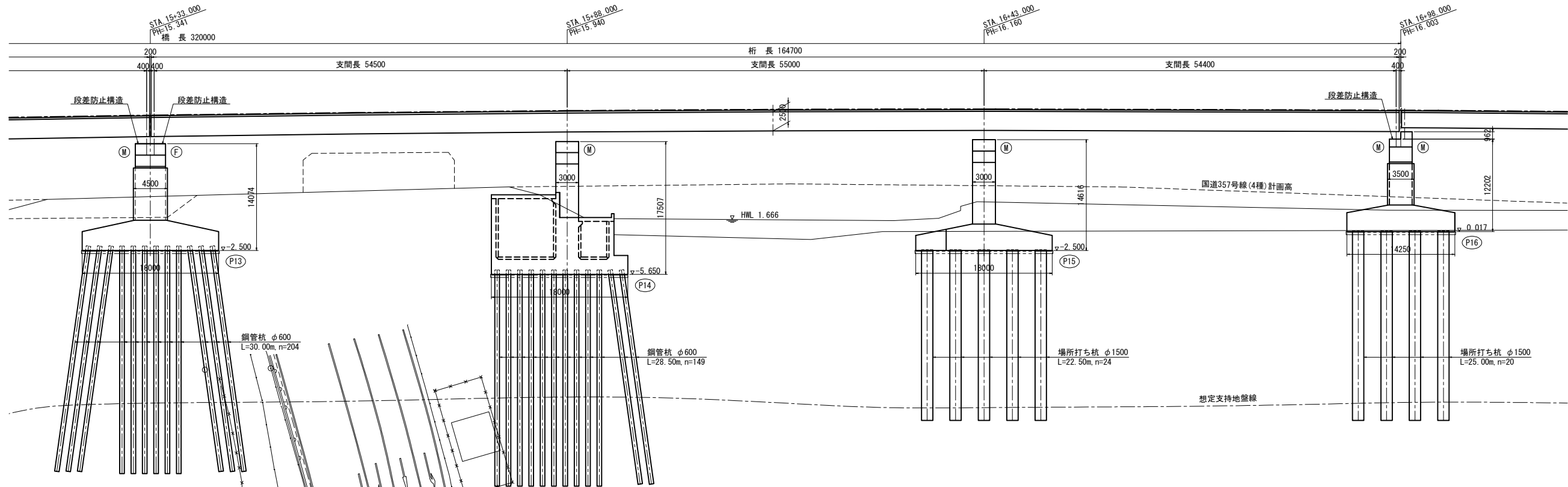
平面図



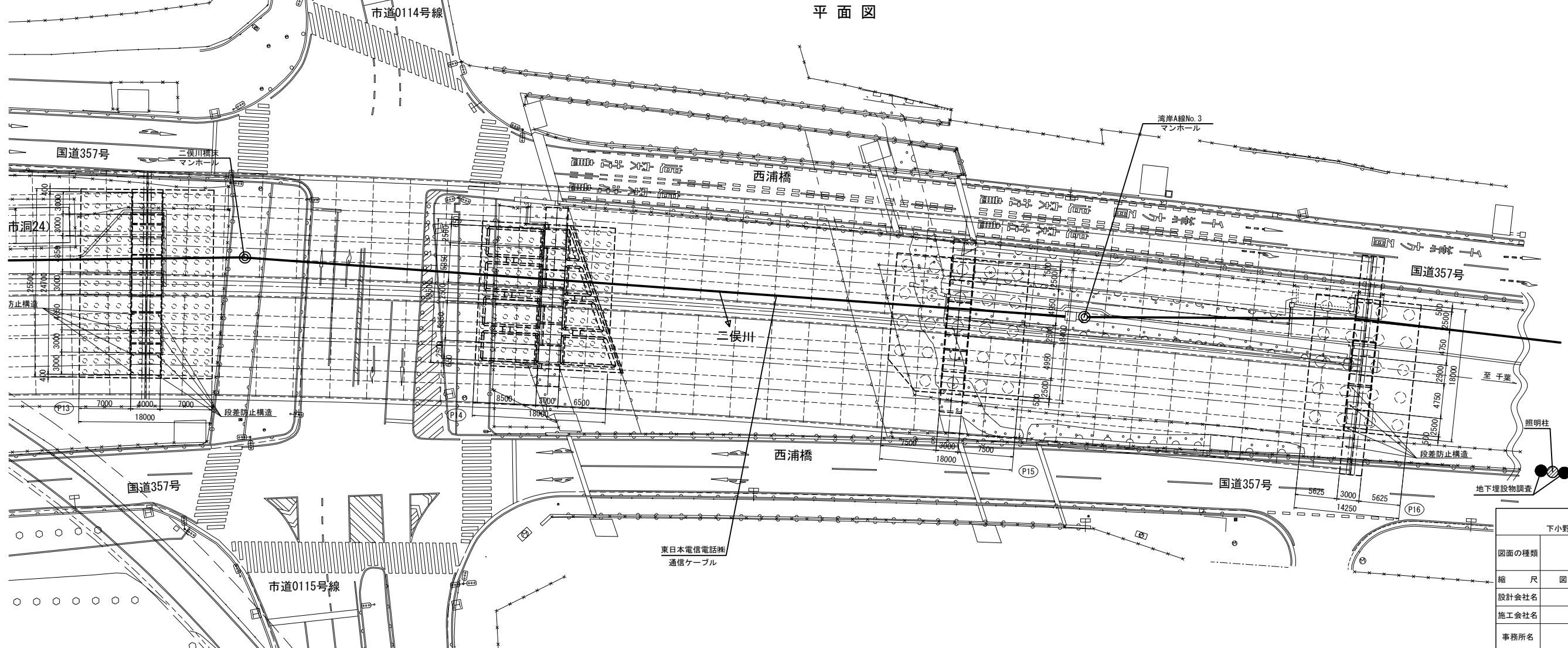
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	二俣高架橋（上り線） 耐震補強橋梁一般図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	1 / 12
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

二俣高架橋（上り線） 耐震補強橋梁一般図（その2） S=1:600

側面図

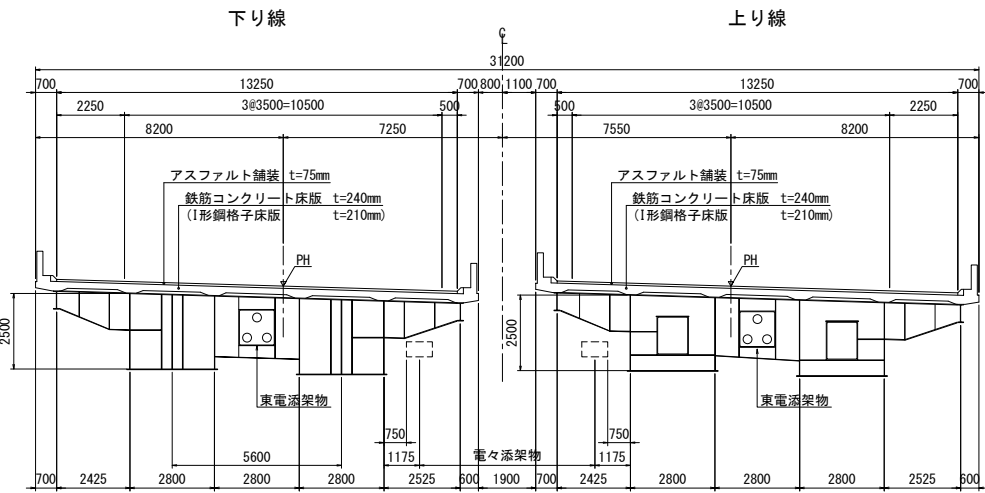


平面図

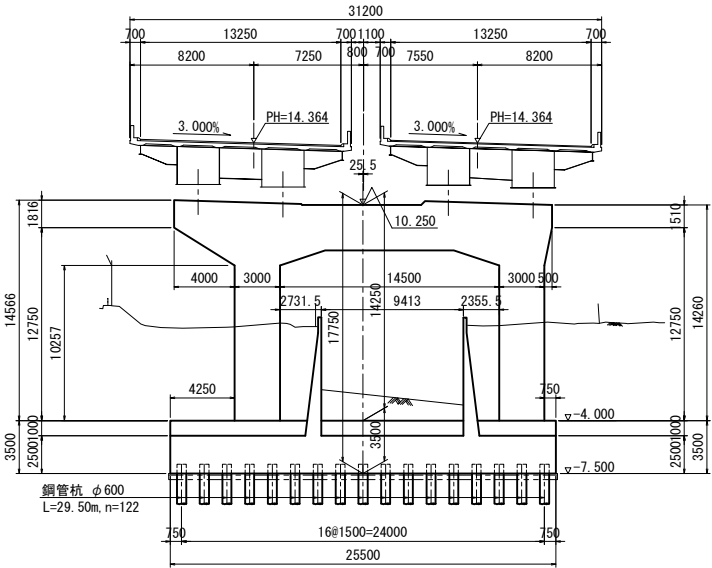


東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	二俣高架橋（上り線） 耐震補強橋梁一般図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	2 / 12
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

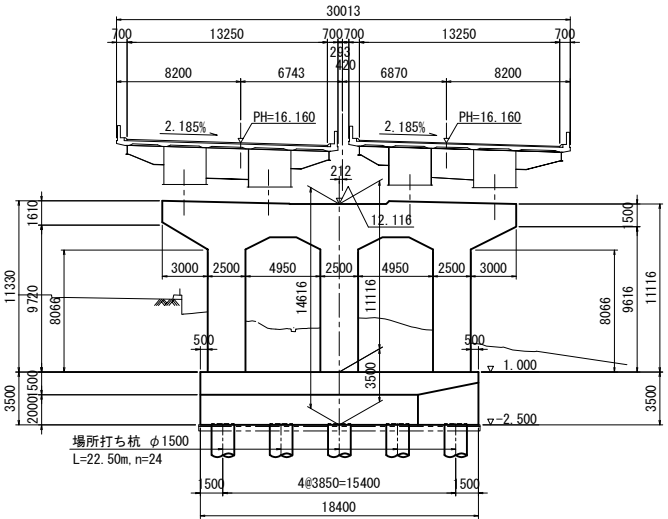
標準横断面図 S=1:250



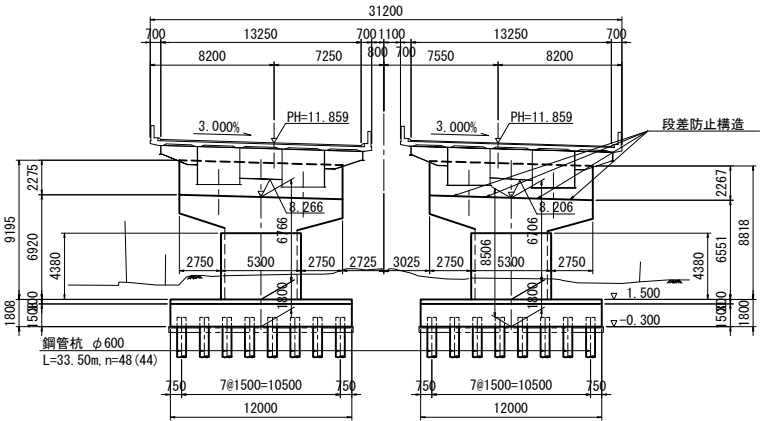
P 1 2 橋脚 断面図



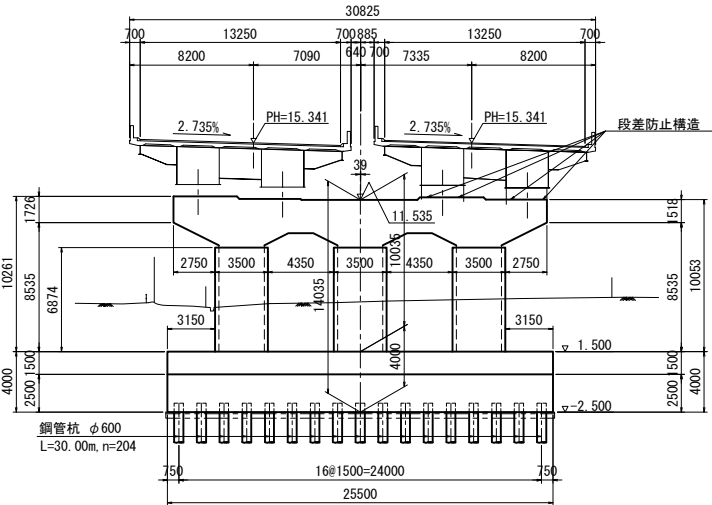
P 1 5 橋脚 断面図



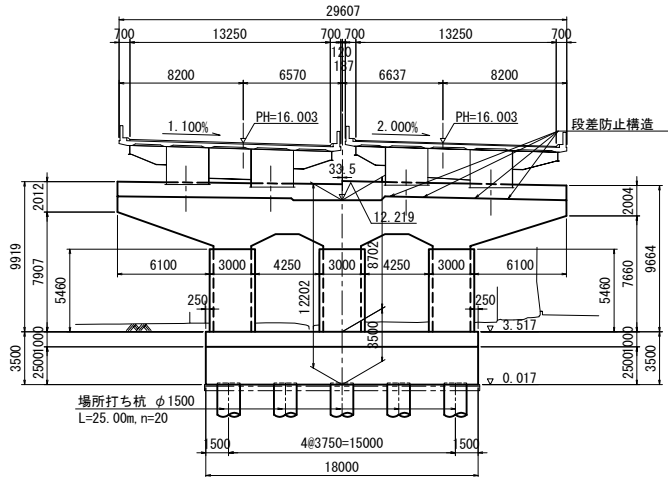
P 1 0 橋脚 断面図



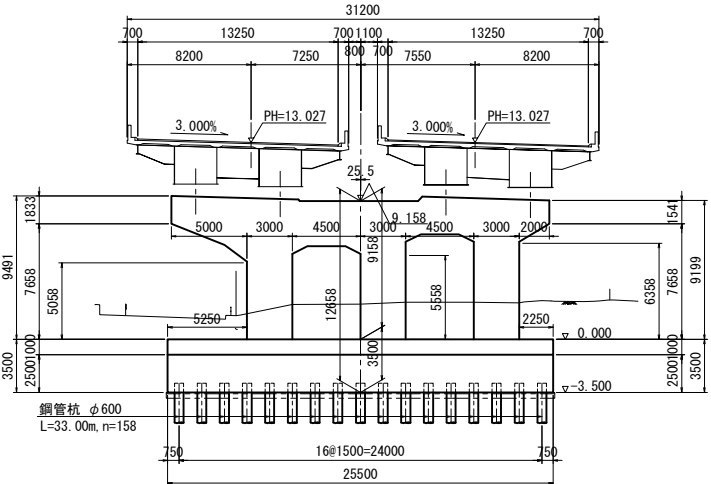
P 1 3 橋脚 断面図



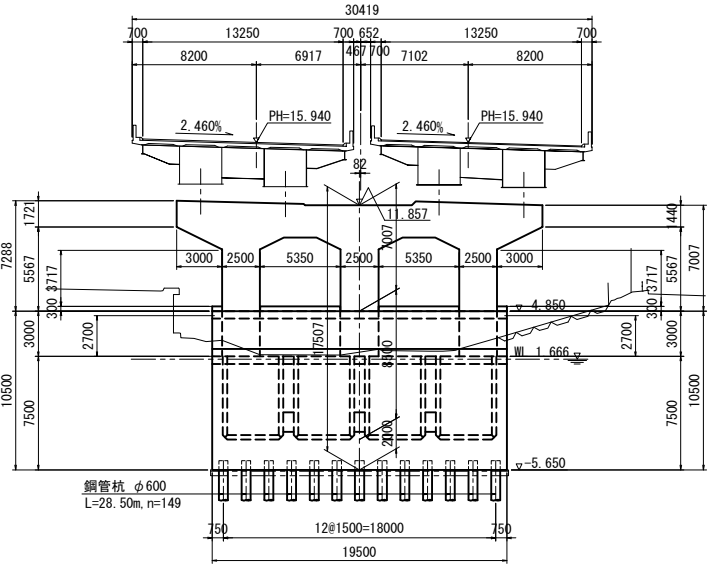
P 1 6 橋脚 断面図



P 1 1 橋脚 断面図

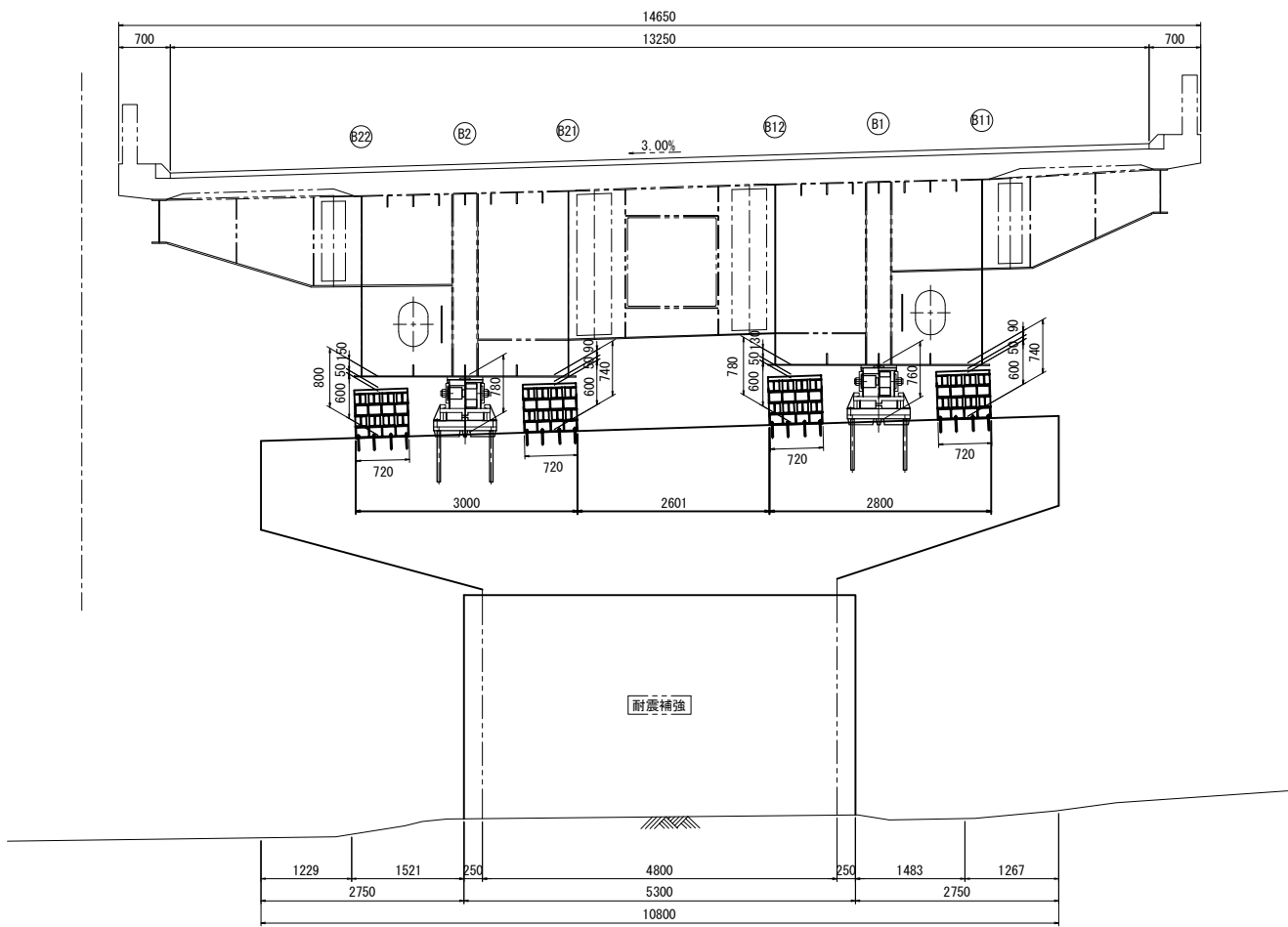


P 1 4 橋脚 断面図

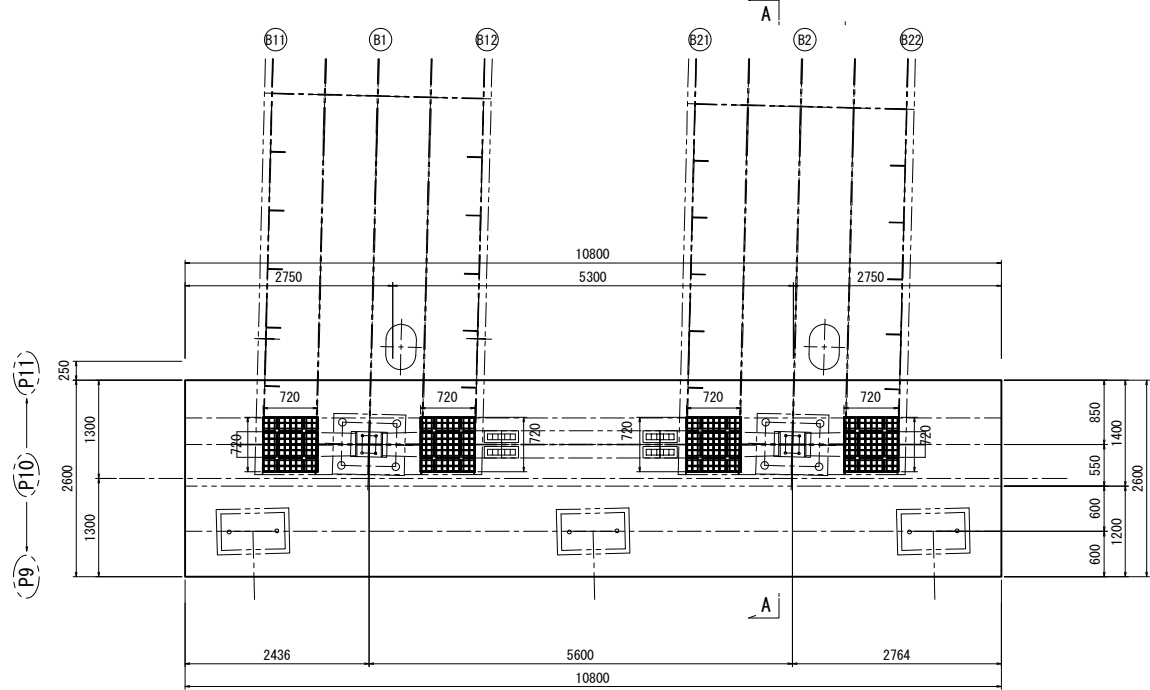


設計条件		上り線		下り線	
		鋼3径間連続箱桁	鋼3径間連続箱桁	鋼3径間連続箱桁	鋼3径間連続箱桁
橋 長		320.000		320.000	
桁 長		154.800	164.700	154.800	164.700
支 間 長		44.50+55.00+54.50	54.50+55.00+54.40	44.50+55.00+54.50	54.50+55.00+54.40
有 効 幅 員		13.250	13.250	13.250	13.250
斜 角		90° 00' 00"		90° 00' 00"	
平 面 曲 線		R=900 ~ A=500		R=900 ~ A=500	
縦断面曲線変換点		STA.16+00		STA.16+00	
縦断勾配		2.595% ~ 1.40476%		2.595% ~ 1.40476%	
縦断面曲線長		320		320	
設計水平震度	建設時	kh=0.24			
	耐震補強時	不明			
	本設計	橋軸方向(タイプⅠ) P10: khc=0.40, P11: khc=0.40, P12: khc=0.48, P13: khc=0.40, P14: khc=0.57, P15: khc=0.40, P16: khc=0.40			
		(タイプⅡ) P10: khc=0.40, P11: khc=0.40, P12: khc=0.65, P13: khc=0.40, P14: khc=0.76, P15: khc=0.52, P16: khc=0.49			
下部工形式	基礎工形式	P10: 柱式橋脚 P11~P16: ラーメン式橋脚			
		P10~P14: 鋼管杭φ600 P15~P16: 場所打ち杭φ1500			
	建設時	コンクリート			
	下部工	鉄 筋 SD295			
耐震補強(施工済)	基礎工形式	コンクリート			
		鉄 筋 SD345			
	本設計の耐震補強	コンクリート			
		鉄 筋 SD345			
本設計における地盤種別	架 設 年	昭和57年			
		柱 補 強 年 平成9年 橋脚耐震補強 (P10、P13、P16)			
	建設時適用示方書	道路橋示方書 (S53)			
		本設計の適用示方書 道路橋示方書 (H24)			
事務所名	設計要領第二集 (保全編) R2.7、更なる耐震補強設計の進め方 (参考資料)	東関東自動車道			
		下小野第二高架橋耐震補強工事			
	図面の種類	二俣高架橋 (上り線)			
		耐震補強橋梁一般図 (その3)			
縮 尺	図 示	図面番号 3 / 12			
		設計会社名 東日本高速道路株式会社			
	施工会社名	東日本高速道路株式会社			
		関東支社 千葉管理事務所			

正面図

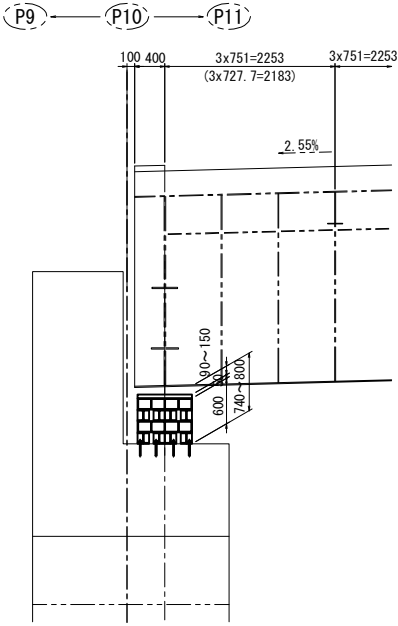


平面図

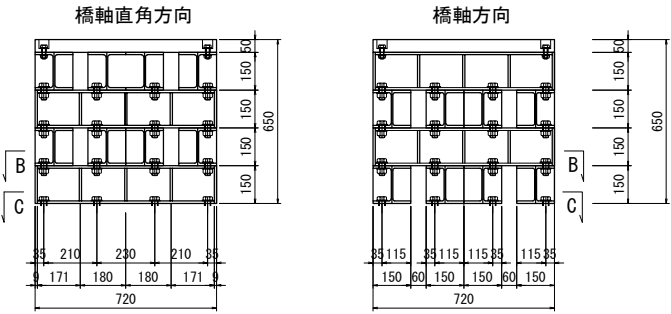


側面図

A-A断面

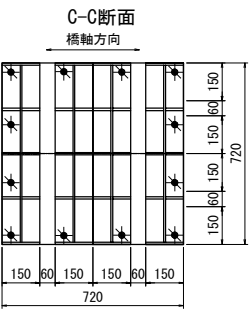
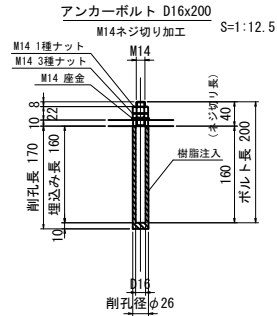


段差防止構造（サンドル材）詳細図 S=1:25

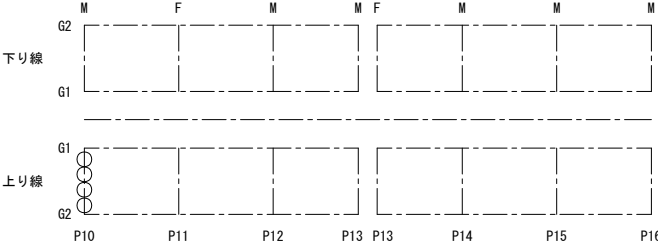


サンドル(4段) 1箇所当り材料

- サンドル(4段) 1箇所当り材料 (Sand material (4 segments) 1 location per material)
- 16-H 150×150×7/10×702
 - 32-PL 150×9×150
 - 96-PL 71×9×130
 - 1-クロロプレングム 720×50×720 (緩衝材) ※
 - 4-BN M16×50 (1-W, 1-割ピン付, 1-Nut3種) (SS400)
 - 24-BN M22×55 (2-W, 1-1種Nut) (4.6)
 - 12-Anc Bolt D16×200 (SD345)
 - 12-Nut M14 (1種, SS400)
 - 12-Nut M14 (3種, SS400)
 - 12-座金 M14 (SS400)



配置図



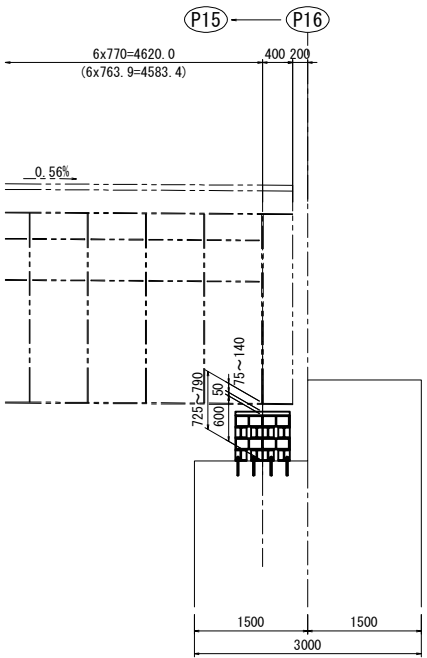
- 注記 (Notes)
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - H形鋼のボルトは、用孔明直径はφ25とする。
 - ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(膜厚は、JIS H8641 HDZ777より77μm以上とする。
但し、ボルト・ナットの膜厚は、HDZ749より49μm以上とする。)
 - 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 連結用のボルトはゆるみ止めナットを使用すること。
 - アンカーボルトのネジ切り部は溶融亜鉛メッキ処理とする。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	二俣高架橋（上り線） P 1 O 橋脚 段差防止構造配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 12
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

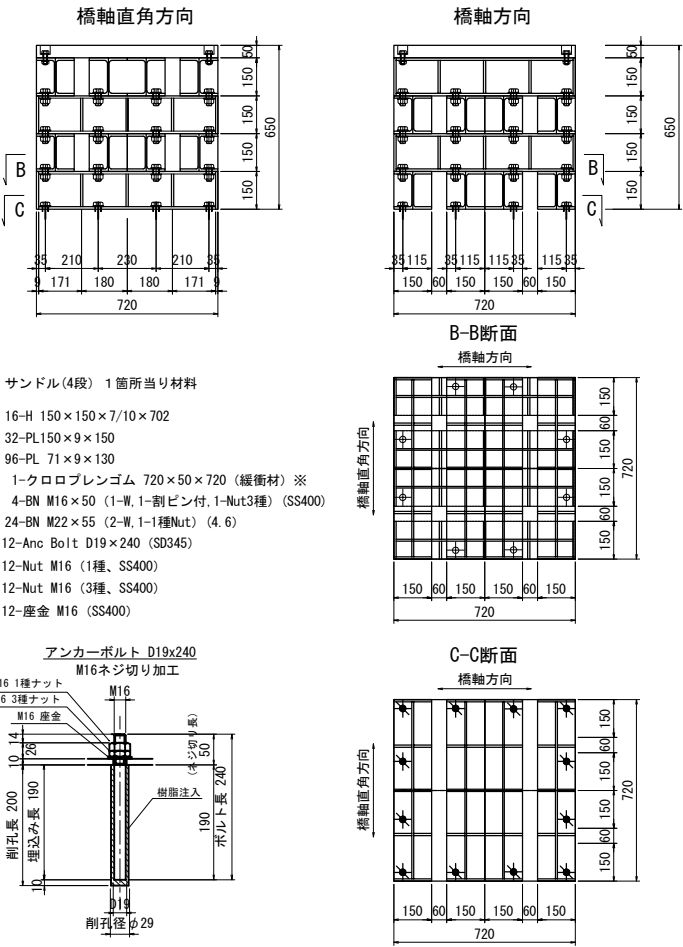
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線） P 13 橋脚 段差防止構造配置図			
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

正面図

側面図
A-A断面

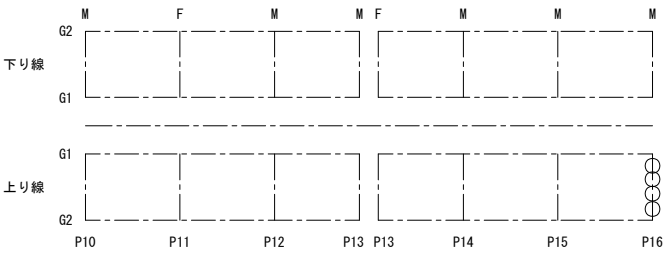


段差防止構造（サンドル材）詳細図 S=1:25



平面図

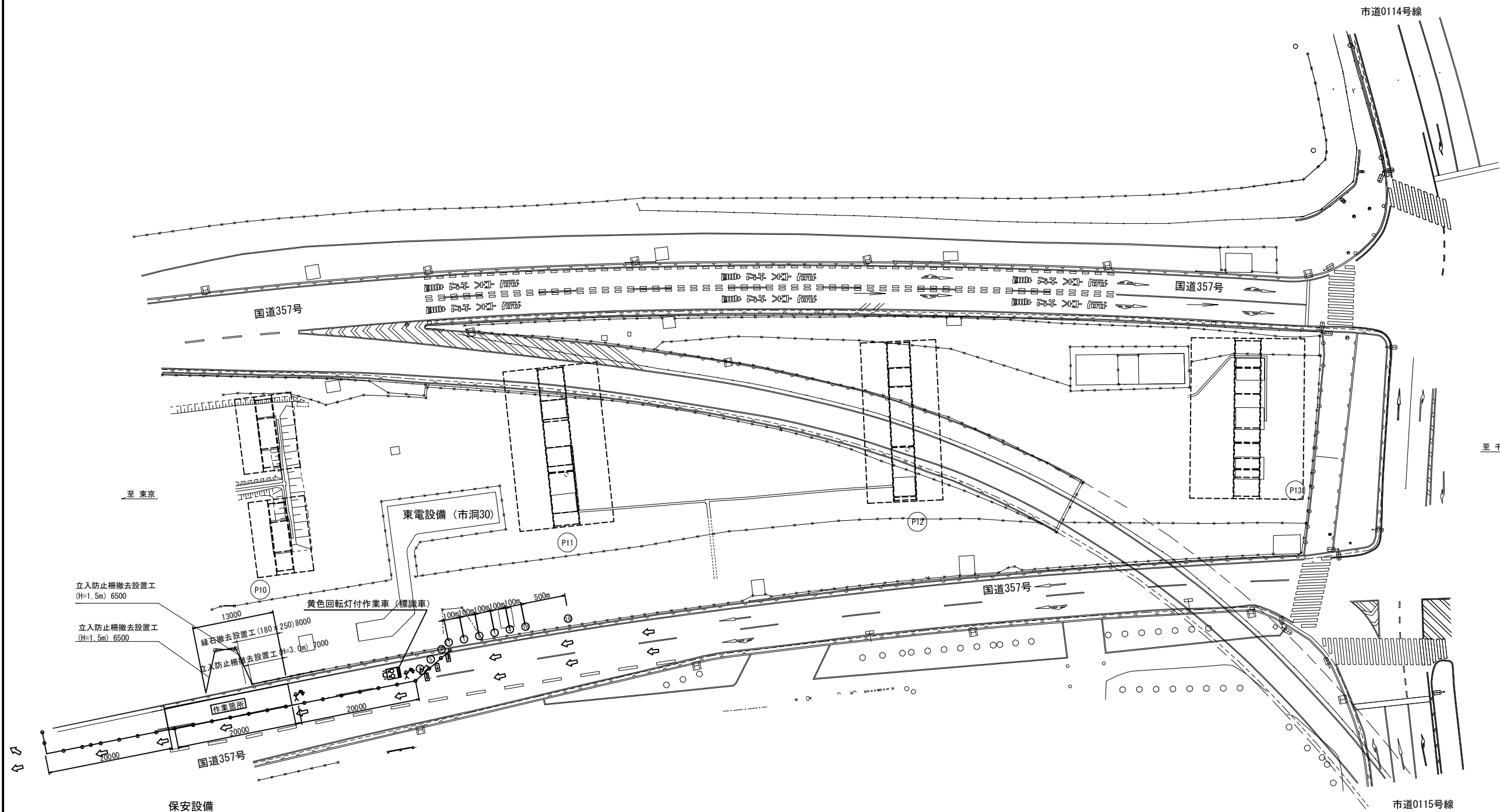
配置図



- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 2. H形鋼のボルトは、用孔明直径はφ25とする。
 3. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(膜厚は、JIS H8641 HDZT77より77μm以上とする。
但し、ボルト・ナットの膜厚は、HDZT49より49μm以上とする。)
 4. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 5. 連結用のボルトはゆるみ止めナットを使用すること。
 6. アンカーボルトのネジ切り部は溶融亜鉛メッキ処理とする。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線） P 1 6 橋脚 段差防止構造配置図			
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

立入防止柵撤去設置時



保安設備

① 工事箇所予告標識板

② 警戒標識

③ 規制標識

⑤ 工事名標識板

④ 規制標識

⑥ 黄色回転灯

⑧ 誘導標識板

⑨ 警戒標識

⑪ 工事説明看板

⑬ 工事説明看板

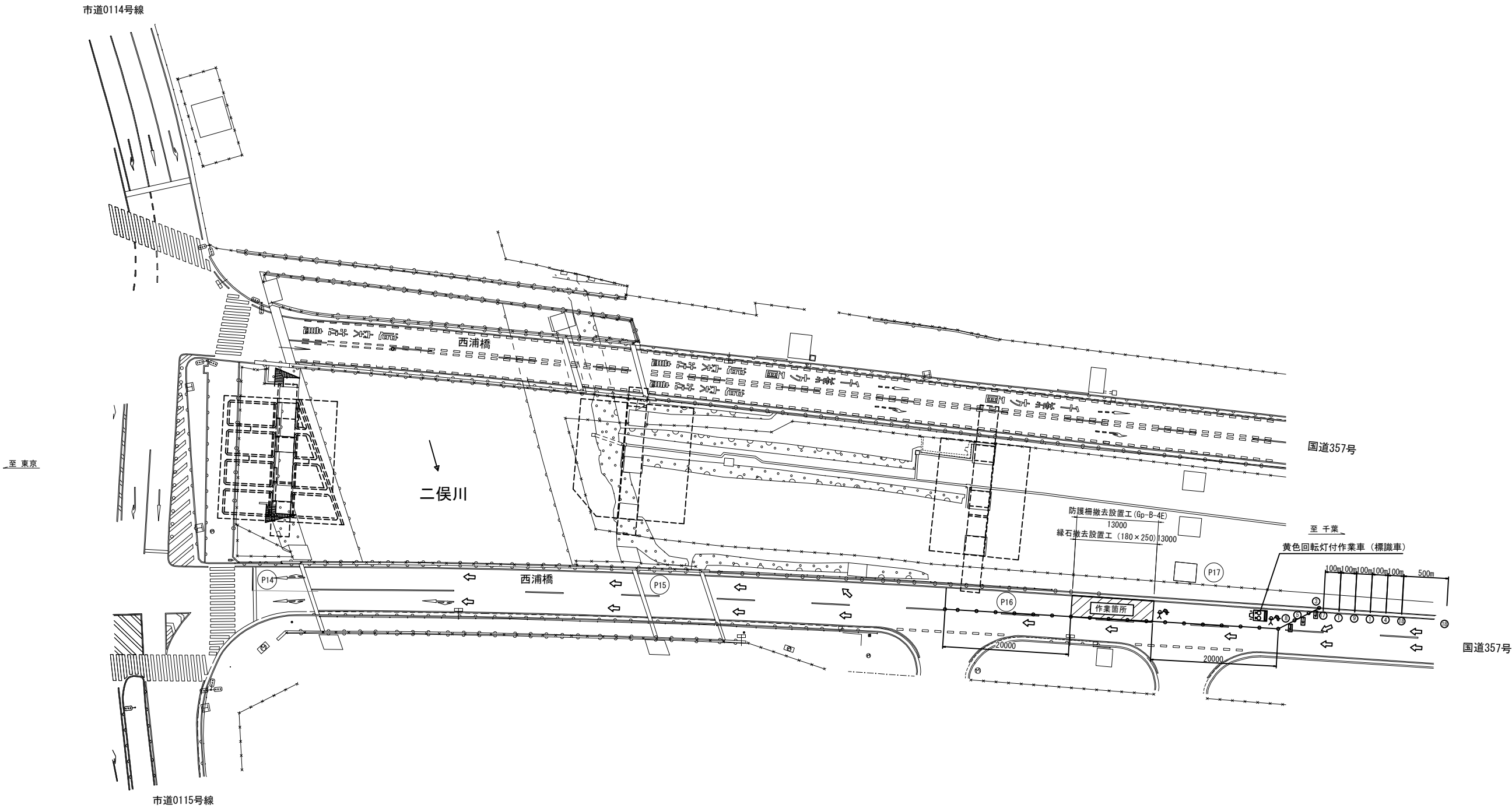
⑭ 工事情報看板

注記

- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
- 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線） P10橋脚 交通規制図（参考図）			
縮尺	図示	図面番号	7 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

防護柵撤去設置時



保安設備

① 工事箇所予告標示板

② 警戒標識

③ 規制標識

⑤ 工事名標示板

④ 規制標識

⑥ 黄色回転灯

⑧ 誘導標示板

⑨ 警戒標識

⑪ 工事説明看板

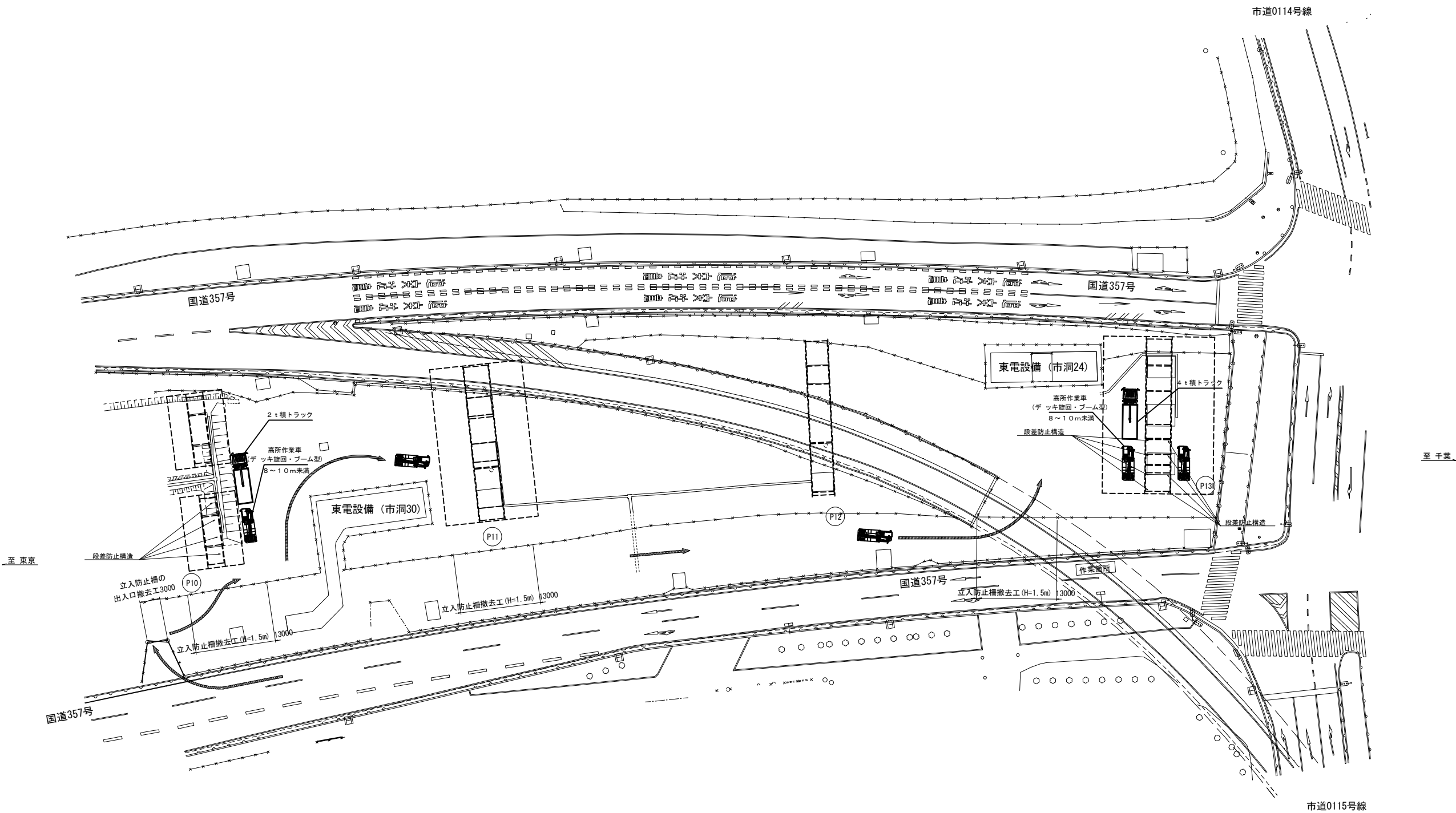
⑭ 工事説明看板

⑯ 工事情報看板

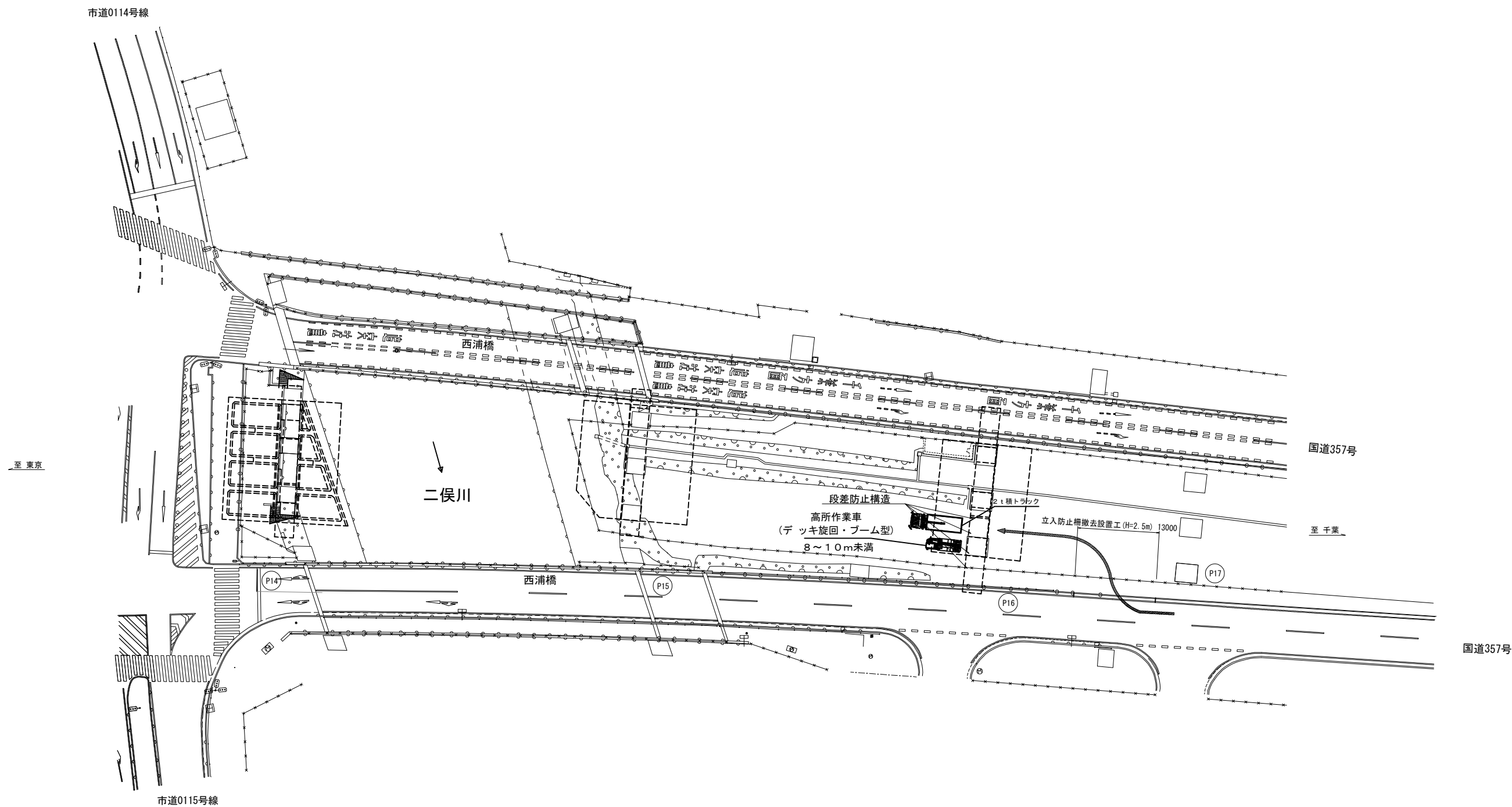
注記

- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
- 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

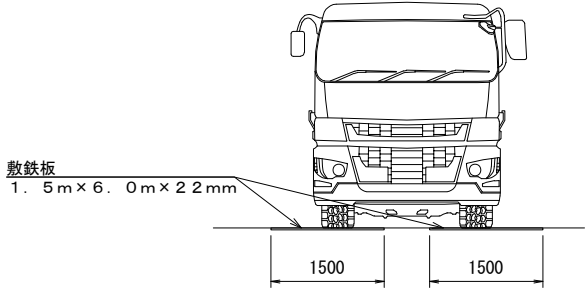
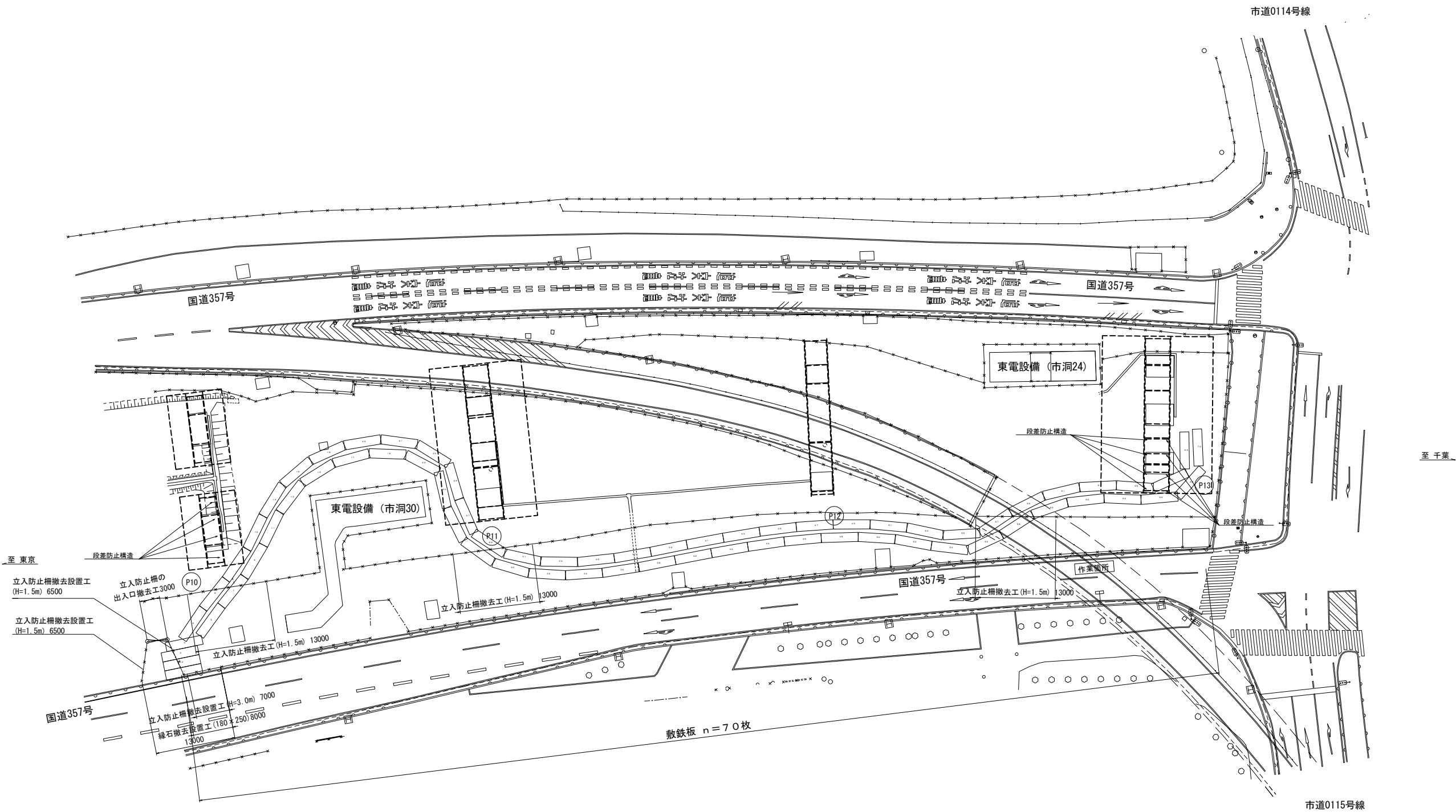
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線）P 1 6 橋脚 交通規制図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



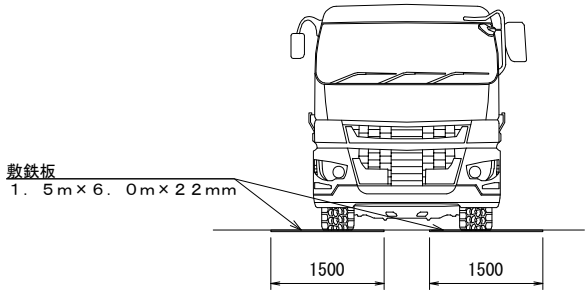
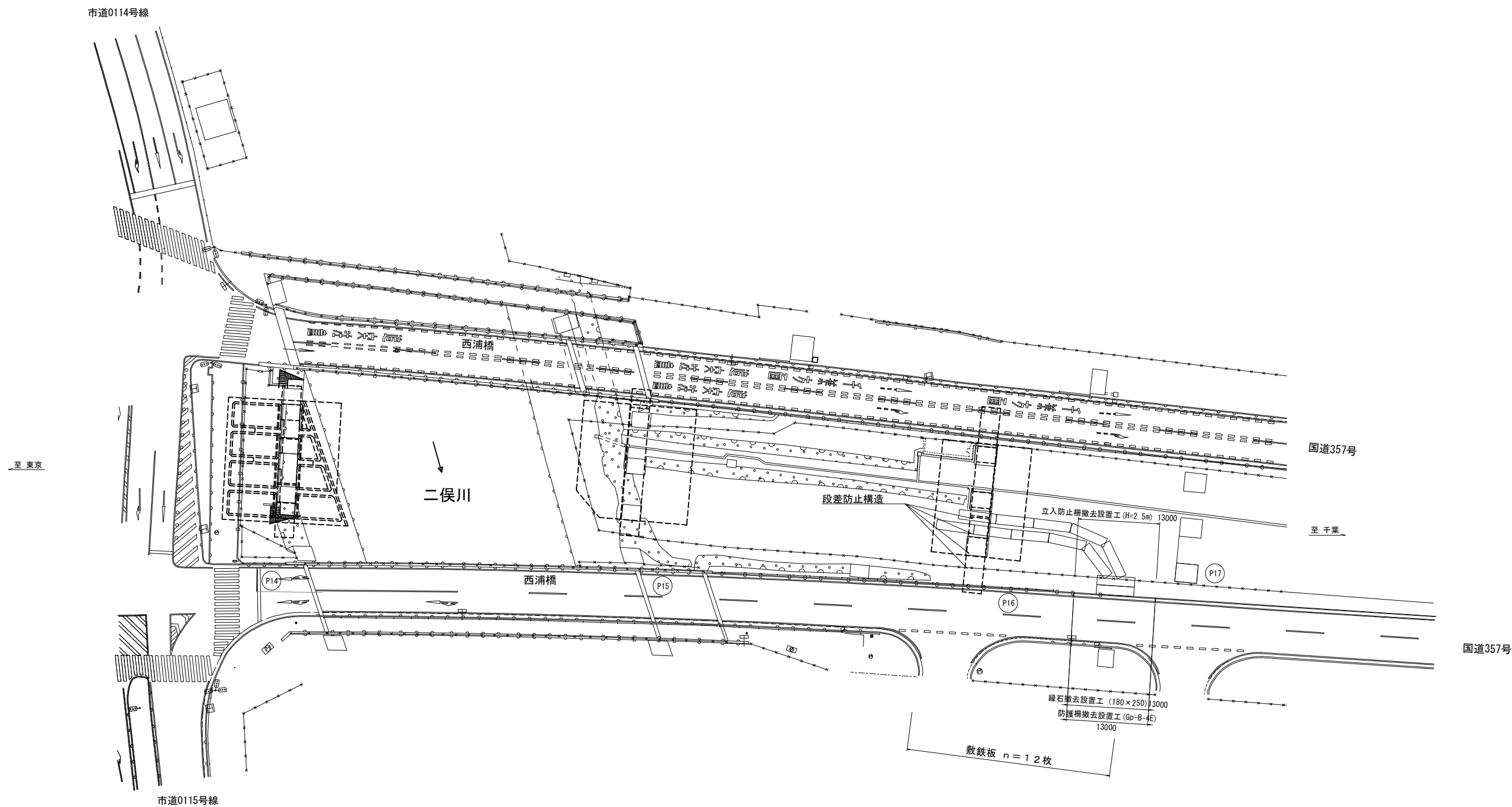
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線）P10・13橋脚 施工概要図（参考図）			
縮尺	図示	図面番号	9 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線）P 1 6 橋脚 施工概要図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線）P10～13橋脚 作業ヤード整備工図（参考図）			
縮尺	図示	図面番号	11 / 12	
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	二俣高架橋（上り線）P 1 6 橋脚 作業ヤード整備工図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	12	/ 12
設計会社名	東日本高速道路株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			